『まちづくり講演会＆懇談会』開催内容

つなぐ・ひろがる・まちづくり

～災害に強いまちはどんなまち？～

首都大学東京の名誉教授である高見澤先生は、長年、東京を中心にまちづくりや都市計画を研究するとともに、お住まいの町田市で地域の活動もしてこられました。今回は、先生を講師にお招きし、「災害に強いまち」をテーマにお話いただいた後、地区のみなさまとまちづくりについて考えていきたいと思います。



楽しく子育てができるまち、歳をとってもずっと住み続けたいまち、そんな『まち』であるならば、いざ災害のときにも安心感がありますね。

自分たちの『まち』の魅力や課題を語り合うことから、まちづくりを始めませんか。（講師より）

講師のご紹介



高見澤　邦郎　氏
（たかみさわ　くにお）

○首都大学東京（東京都立大学）名誉教授
○研究分野：都市計画、密集まちづくり、郊外開発、環境保全問題など
○地域活動：町田市などで市民活動団体へのボランティア支援も継続中。

会　場

●西武池袋線富士見台駅北口より
徒歩５分

貫井福祉園
２階　活動交流室１・２

（練馬区貫井２－16－12）
電話　03-5987-0400

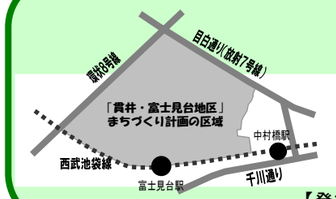


※事前申し込みは必要ありません。
当日直接会場へお越し下さい。

ご来場をお待ちしています。（無料）

～貫井・富士見台地区のまちづくりについては、区のホームページでも紹介しています～
・サイトアドレス：　http://www.city.nerima.tokyo.jp/kusei/machi/kakuchiiki/nukui-hujimidai.html
（検索ワード:「貫井・富士見台地区」）

＜お問い合わせ先＞　練馬区　環境まちづくり事業本部　都市整備部　東部地域まちづくり課
貫井・富士見台地区担当
〒176-8501　練馬区豊玉北六丁目 12 番1号　電話:03－5984－1429（直通）



貫井・富士見台地区 まちづくり通信

平成24年2月発行

第3号

【発行】練馬区 環境まちづくり事業本部 都市整備部 東部地域まちづくり課

貫井・富士見台地区のまちづくりにご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。
このまちづくり通信は、地区のみなさまとまちづくりの情報を共有するために発行しています。

第３号では、現在進めているまちづくりの取り組みについてお知らせしますので、ご覧下さい。

○「第１回貫井・富士見台地区まちづくり委員会」開催のご報告（１ページ）
○「まちづくり講演会＆懇談会“つなぐ・ひろがる・まちづくり”」開催のご案内（１、４ページ）
○「震災について知ろう」イベント開催結果のご報告（２、３ページ）

ご報告　「第1回まちづくり委員会」を開催しました。

平成 24 年１月 12日（木）午後７時より、富士見台地区区民館において、第１回「まちづくり委員会」を開催しました。

委員の紹介と委員会の趣旨説明の後、次の議事を行いました。

・会則案の承認
・正副委員長の選任



まちづくり委員会は、貫井・富士見台地区における、災害に強く、安全・安心かつ住みよいまちづくりを推進することを目的として設置しています。

この委員会は定期的に開催し、まちづくり事業の進捗状況、今後のスケジュールや取組み内容について報告を行い、意見交換をします。

まちづくり講演会＆懇談会

つなぐ・ひろがる・まちづくり

～災害に強いまちはどんなまち？～

まちづくりについて考えてみませんか？（詳細は４ページをご覧ください。）

日時：平成 24 年３月 10 日（土）午後 2～4 時
会場：貫井福祉園 2階 活動交流室
定員：40名



ご報告

まちづくりイベント「震災について知ろう」を開催しました。

開催概要

地区のみなさまに、「大地震の時、どんなことが起こったか」を知っていただき、「日頃から震災に対してどのような備えをしておけばよいか」を考えていただくきっかけとして、下記のような防災関連のイベントを開催しました。

・日　時：１月 28 日（土）　午後２～４時　　貫井福祉園
（会 場）２月　５日（日）　午後２～４時　　富士見台地区区民館
・参加人数：約４０名
・内　容：●防災ビデオの上映コーナー
・「幸せ運ぼう　～阪神・淡路大震災から学ぶ～」（10 分）
・「我が家の危機管理　～日頃の対策と心構え～」（15 分）など
●住まいの相談コーナー
・専門家が、みなさまからの住まいに関する相談を受け付けました。
●パネルの展示コーナー
・上映ビデオに関連したパネルを作成し、スタッフがみなさまに説明しました。
また、家庭用家具類の転倒・落下防止対策のための防災用品の展示を行いました。

防災ビデオの上映コーナー

阪神・淡路大震災の被災状況や住民による消火・救出活動をはじめ、住宅の震災対策に関するビデオを上映し、みなさまからの感想を頂きました。



【ビデオ上映後の主な感想】
・地震時は、火をとめることに心がけている。家の構造までは考えていなかったので参考になった。
・道幅が狭い、消防車が通れない、電柱が多い道のため、いざという時の避難が心配。また、近所に高い塀があり地震のときに倒れそう。
・町会で避難訓練は行っているが、家族では災害時の備えや安否確認の方法など決めていないので、これから家族で話し合おうと思う。
・学校で避難訓練をしていたので、東日本大震の時にはあわてなかったが、外出しているときの家族の安否確認方法は決めていないので、決めた方がよいと思った。

住まいの相談コーナー

建物については、自宅の耐震性や、擁壁の安全性についての相談があり、耐震診断の内容や、区の耐震改修助成を紹介しました。

また、整備予定の道路沿道にお住まいの方からは、拡幅にかかる場合の補償内容や道路線形についての質問が寄せられました。

今後も、住まいの相談会を設けていく予定です。



パネルの展示コーナー

５枚のパネルにより説明を行いました。
・「阪神淡路大震災から見えてきたこと」
・「災害に強い市街地にするために」
・「貫井・富士見台地区の現状」
・「地震に強い建物など」
・「家庭用家具類の転倒・落下防止対策例」



●阪神淡路大震災から見えてきたこと



※パネルより一部抜粋

【パネル展示内容への主な感想】
・火災が広がる前に避難すればよいと思っていたが、大事なのはまず自宅が倒壊しないようにして、自分や家族の身の安全を確保することだと思った。
・リフォームの際に筋交いを入れたが、今後はタンスに転倒防止器具を取り付けたい。

今後も地区のみなさまと話し合いや意見交換の機会を設けていきますので、是非ご参加ください。